



PET-CT 検査予約用紙（検査をお受けになる方へ）

- 来院時間** ※診察券をお持ちでない方：予約時間の 30 分前に階総合受付へ。
※診察券をお持ちの方：予約時間の 30 分前に再来受付機で受付し、1 階⑤受付へ。

ご注意

1. 完全予約制となっています。予約時間に遅れないようにお越しく下さい。
2. ご自身の都合でキャンセルされる場合は、主治医に相談をして、主治医から直接キャンセルの連絡を頂くことが原則となっております。
この場合、キャンセル料が発生することがあります。あらかじめご了承ください。
3. 糖尿病以外の医師から処方された常備薬は服用していただけます。
4. 検査前日は、筋肉に負担のかかる運動などは控えてください。
5. 当日は、ボタン・ファスナーのない肌着を着用してください。
6. 精密機械による検査となります。機器の都合上、予定通りに検査ができないことや、延期させていただく場合もありますのでご了承ください。
7. 薬剤の注入時間から検査終了まで全患者さんスケジュールが決まっています。万が一、患者さんのご都合でスケジュールに支障をきたすと判断した場合は検査を中止もしくは延期とさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

絶食開始 検査予約時間の **6 時間前** から絶食してください。

絶食開始後も水やお茶（糖分を含まないもの）のみ飲んでもかまいません。

※あめやガム（シュガーレス表記のものも含む）も不可。

※自動販売機やコンビニにある「無糖」と記載されている飲料も不可。

所要時間 前処置や検査後の待機時間も含め **2 時間半～3 時間** かかります。

※撮像時間自体は 30 分前後です。

受付場所 神戸低侵襲がん医療センター 2 階 総合受付

電話番号：078-304-4100（平日 8:15～17:00）

持参するもの

1. 主治医からの紹介状・CD-ROM（ある方のみ）
2. 保険証、お薬手帳など
3. 検査費用
4. 排尿間隔が 1 時間空かない方はパット、常時パット・オムツ使用中の方は交換分を持参
5. 必要な方は、ペースメーカー手帳、ストマ用パウチの予備、痛み止め、咳止め、ウィッグの代わりに金属類のない帽子

ご不明な点につきましては、PET-CT 室看護師までお問い合わせください。

神戸低侵襲がん医療センターへのアクセス方法

JR・電車・バスをご利用の方

「三宮」駅からのアクセス

ポートライナーを利用して「神戸空港」行き、「北埠頭」行きにご乗車ください。

「市民広場」駅で下車（三宮駅より約10分）。歩道橋を南西に約5分。

お車をご利用の方

阪神高速3号線「生田川」IC、「京橋」ICより、神戸大橋を渡り約10分。

※神戸大橋を渡り、南に真っ直ぐ突き当たり（T字路）まで行き、右折。

※三宮東の港島トンネルもご利用できます。

神戸低侵襲がん医療センター周辺地図



〒650-0046

兵庫県神戸市中央区港島中町 8-5-1

地域医療連携室

TEL : 078-304-5480 FAX : 078-304-7782



PET-CT 検査に関する説明書（必ずお読みください）

1. ポジトロン放射断層撮影 CT (PET-CT) 検査について

この検査は、放射性同位元素 (F-18) で標識されたフルオロデオキシグルコース [18F] FDG という薬剤を静脈注射した後に撮影を行って体内の糖代謝能を見ることにより、主にがんを診断する検査です。

2. 検査の安全性と危険性について

この薬剤による副作用の心配はありません。PET-CT 検査 1 回の被ばく量は胃透視約 1~2 回分です。この線量で放射線障害が起きることはありません。(ただし、妊娠されている方は検査ができません。)

3. PET-CT 検査を受けるにあたり次の点をご理解ください。

- ◆FDG は、糖代謝の盛んな脳、心臓、肝臓に強く集積します。また尿から排出されるので、腎臓や尿管、膀胱にも集積します。胃や大腸にも生理的集積が見られる場合があります。このため、これらの臓器の診断は難しくなります。
- ◆FDG は、がんだけでなく肺炎などの炎症や甲状腺腫、大腸腺腫などの良性疾患にも集積します。
- ◆血糖値 150mg/dl を超えると腫瘍への FDG 集積は低下し、検出がしにくくなります。検査直前に血糖の測定を行います。この時点で血糖値が高い場合は診断能が低下します。

糖尿病の場合の注意事項

● 検査への影響：検査に使用する薬[FDG]は、ブドウ糖に類似した薬剤であるため、血糖値などの体の中の糖分の状態によって影響を受けることがあります。糖尿病などで血糖値の高い状態で FDG-PET 検査を施行すると、病変が検出できにくくなる場合があります。ただし、そのような状態でも癌（悪性腫瘍）などの病変への薬の取り込みが消えることなく、実際の診断への影響の程度については未だ明らかになっていません。

● 血糖値：これまで判明している限りでは、糖尿病であっても検査時の血糖値が 200mg/dl 以下であれば、検査に大きな支障はないと考えられています。血糖値が 200mg/dl 以上となるような、特に血糖値の高い場合には、病変が見つかりにくくなる可能性があり、検査を延期して糖尿病の治療を十分に行ってから検査を受ける方が良い場合があります。ただし、検査を受けられる方の状況にもよりますので、検査当日の血糖値が 200mg/dl 以上であった場合にはあらためてご説明いたします。

● インスリン：血糖値が高いことと共に、血中インスリン濃度も検査に影響します。血中インスリン濃度が高いと、病変以外への FDG 分布が増え、やはり病変がわかりにくくなります。血糖値が 200mg/dl 以上であっても、約 6 時間前から検査までインスリンは使用しないでください。

● 検査前の注意：約 6 時間前から絶食してください。糖尿病の内服薬（血糖降下剤）やインスリンの注射は、検査 6 時間前から検査終了まで禁止です。絶食中に、低血糖発作のためやむを得ずブドウ糖を摂取した場合も、正確な結果が出ないことがあります。当日内での時間変更や日時変更の必要があることかがありますので、摂取後は速やかに当院「地域医療連携室」までご連絡ください。

ご不明な点は「地域医療連携室」までお問い合わせください。

神戸低侵襲がん医療センター 地域医療連携室 平日 8:30~17:00

TEL : 078-304-5480 FAX : 078-304-7782



【PET-CT 検査の保険適応について】

算定要件	
悪性腫瘍 (早期胃がんを除き、 悪性リンパ腫を含む)	他の検査、画像診断により病期診断、 転移・再発の診断が確定できない患者
心疾患	心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者
血管炎	高安動脈炎等の大型血管炎において、 他の検査で病変の局在または活動性の判断のつかない患者

診療報酬算定要件と下記ポイントを併せて検査のご依頼をお願いいたします。

- PET 検査の前には画像診断や他の検査により精査を行っておくことが必要です。

※画像診断：CT、MRI、超音波検査及び核医学検査

※腫瘍マーカーは該当しません。

- “**疑い**”病名は査定対象になる可能性があります。

病理診断による確定診断が得られなかった場合でも、

「臨床上高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断されている場合」は

保険適応となりますので、臨床病名として悪性腫瘍の病名をつけてください。

- 同じ患者で繰り返し検査を行う場合は、**6ヶ月以上期間を空けてください**。

※算定要件の留意事項では原則6ヶ月に1回となっています。

※ただし、「悪性リンパ腫の治療効果判定」については、転移・再発診断の目的に

該当するとの見解から、6ヶ月以内であっても保険適応となります。

- 検査予約日前の**3ヶ月以内に画像検査（CT、MRI、その他）を受けていることが必須となっています**。依頼書内の画像検査日の記載も必ずお願いします。

※悪性リンパ腫は除く

— 保険適応にならない例 —

- ・「悪性リンパ腫」以外の化学療法や放射線治療等の効果判定目的
- ・再発を強く疑う所見がない定期的な経過観察目的
- ・腫瘍マーカー高値やレントゲン検査のみによる診断目的
- ・同一月内にガリウムシンチグラフィが実施されている場合
- ・スクリーニング目的、健康診断目的